

平成 31 年度（2019 年度）第 1 回公立大学法人熊本県立大学理事会 議 事 録

日時：令和元年（2019 年）6 月 26 日（水）午後 2 時 20 分～午後 2 時 25 分

場所：熊本県立大学 本部棟 2 階大会議室

出席：

＜理事＞ 理事長	白石 隆
副理事長（学長）	半藤 英明
理事（事務局長）	斉藤 浩幸
理事（副学長）	堤 裕昭
理事	本松 賢
＜監事＞ 監事	河喜多 保典
	本田 悟士

＜事務局＞手島事務局次長、三隅教務入試課長、西嶋学生支援課長、丸山総務課長、
脇上企画調整室長、脇地域連携政策センター事務長、
安達学術情報メディアセンター事務長、
八十川総務課総務班長、矢津田総務課財務班長、
平井総務課財務班参事、松本企画調整室参事

1 開会（進行：事務局次長）

2 理事長あいさつ

3 議題（議長：白石理事長）

(1) 審議事項

①平成 30 年度業務実績の自己点検・評価等について

事務局から、資料 1 に基づき、平成 30 年度業務実績に係る自己点検・評価について、全 50 項目中、S～C の 4 段階評価で S 評価が 1 項目、A 評価が 46 項目、B 評価が 3 項目であり、ほぼ順調に実施できたと総括していることを説明した。

また、6 月末までに県の法人評価委員会に提出する業務実績報告書は、この自己点検・評価結果を基に作成するとの説明もあった。

審議の結果、案のとおり承認された。

②平成 30 年度決算について

事務局から、資料 2 に基づき、平成 30 年度決算について、貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書、行政サービス実施コスト計算書、利益の処分に関する書類（案）、決算報告書により説明があった。

当期総利益は約 2 億 1 百万円で、これは震災に伴う就学支援について県の交付金を

相当程度確保できたこと、支出の減として、経費節減に取り組んだこと、時間外勤務の減少や育児休業等により人件費が当初見込みより減少したことなどが要因であること、この利益については、法に基づき、教育研究等環境整備目的積立金への積み増しの承認を県に求めるとの説明があった。

続いて、河喜多監事から監査報告の説明があった。

審議の結果、案のとおり承認された。

(2) 報告事項

①熊本県立大学未来基金の平成 30 年度収支状況について

事務局から、資料 7 に基づき、熊本県立大学未来基金の平成 30 年度収支状況について、収入状況、支出状況の報告があった。

4 その他

- 次回理事会は、令和元年 10 月 23 日（水）の経営会議終了後に開催する予定。

5 閉会